

# 西円寺納骨堂

## れんげでん 蓮華殿

白い蓮の華が描かれた納骨壇は、正面のお仏壇の藤の花とともにオリジナルのデザインがなされており、この蓮の花から「蓮華殿」と名付けました。



西円寺が維持管理し、法要なども定期的にお参りします。  
蓮華殿の鍵は朝解錠し夕方施錠します。  
当面は朝 6:30 に開錠夕方 5:30 に施錠します。



# 慈化山西円寺

## 納骨堂とお墓

「お墓」と「納骨堂」の違いを大雑把に分類すると、一戸建かアパートかに分けられ、納骨堂はお墓のアパートです。

室内ですから雨の日も日差しの強い日も、安心してお参りできます。

将来引っ越しをする可能性がある方や、お墓を建てても相続する方がいない方、合葬墓に移転納骨する予定の方には、墓石がないので改葬がしやすい、室内のお墓（納骨堂）をお勧めします。

指令平31生活衛生第1012号

敷地面積：67.00㎡	納骨堂施工：伊東工務店（田布施町）
建築面積：17.19㎡	納骨壇施工：高野思考設計（福岡市）
延べ面積：17.19㎡	壁画施工：高野思考設計（福岡市）
建物の構造：木造	周辺整備工事：株式会社公司（田布施町）
納骨設備の基数：70基	施工管理：西円寺総代会

### ●申込みについて

- ①書類を請求ください（メール対応可・説明をいたします）
- ②公的書類（印鑑証明書）を用意ください。
- ③冥加金を添えて書類を提出ください。
- ④ご希望の場所をお選びください。
- ⑤「使用許可証」を交付します（鍵は西円寺で保管します）

### ●納骨について

- ①納骨の希望日と容器の相談を事前にお願ひします。
- ②「使用許可証」「お骨」「火葬許可証（移転納骨の場合は「改葬許可申請書」）」をお手元に用意ください。
- ③参拝に必要な「念珠」「門徒式章」「参拝懇志」「納骨届（様式3）」を用意ください。
- ④当日は手続きの後本堂で法要を行い、納骨いたします。
- ⑤その他（ペットなど）のお骨については相談ください。

### ●参拝について

- ①蓮華殿近くまで自動車でご来参いただけます。
- ②駐車したら車椅子でお参りできます。
- ③蓮華殿の鍵は朝解錠し夕方施錠します。
- ④殿内に入ると電気香炉が暖まりお焼香ができます。
- ⑤焼香卓の左右の花立をご使用ください（枯れると取り除きます）
- ⑥お供物は香炉台（香炉の左右）をご使用になり、参拝後はお持ち帰りください。
- ⑦退出時には扉を閉めてお帰りください。

### ●返還について

- ①納骨壇の使用が不要になった時には返還願ひします。
- ②「使用許可証」を持参の上、お骨の移動方法と期日の相談をお願ひします。
- ③出骨の法要の日程を相談ください。
- ④お骨の持ち出しには田布施町役場で「改葬許可申請書」の交付を受けてください。合同墓への移転は、廟所内の移動なので「改葬許可申請書」は不要です。



## 西円寺について

慈化山「西円寺」は、浄土真宗本願寺派のお寺です。

およそ380年前の寛永15（1638）年頃、開基住職了円は本願寺13代良如上人に帰依し、曹洞宗より改宗して草堂一字を建立しました。第3住職玄立は、延宝8（1680）年11月本願寺第14代寂如上人に認許され、ご本尊阿弥陀如来（康雲作）を賜られ、寛政3（1791）年開基と2世の法名から寺号「西円寺」を定め公称しました。現在の本堂は、およそ200年前の文化11（1814）年に再々建立されたものです。

法要は元旦会、報恩講、春秋の彼岸会、蓮如忌、盆会、除夜会をお勤めし、儀式は初参式、結婚式、葬儀などを行います。

法事や葬儀は、ご自宅、本堂、会館、ホテルなど、ご依頼があればどこでもお勤めします。田布施平生合同斎苑に一番近いお寺です。お気軽にお問い合わせください。

廟所（墓地・納骨堂）交付は、ご門徒を対象にしておりますが新たなご縁でご門徒になれる方も大歓迎します。過去の宗教は問いません。合同墓納骨希望の方のご相談にも応じます。

Google 地図「田布施 西円寺」検索

浄土真宗本願寺派



# 慈化山西円寺

住職 阿川 教行 au:090-3618-6352 (SNS 対応)

〒742-1513

山口県熊毛郡田布施町大字麻郷2558

電話:0820-55-5395 Fax:0820-25-0150

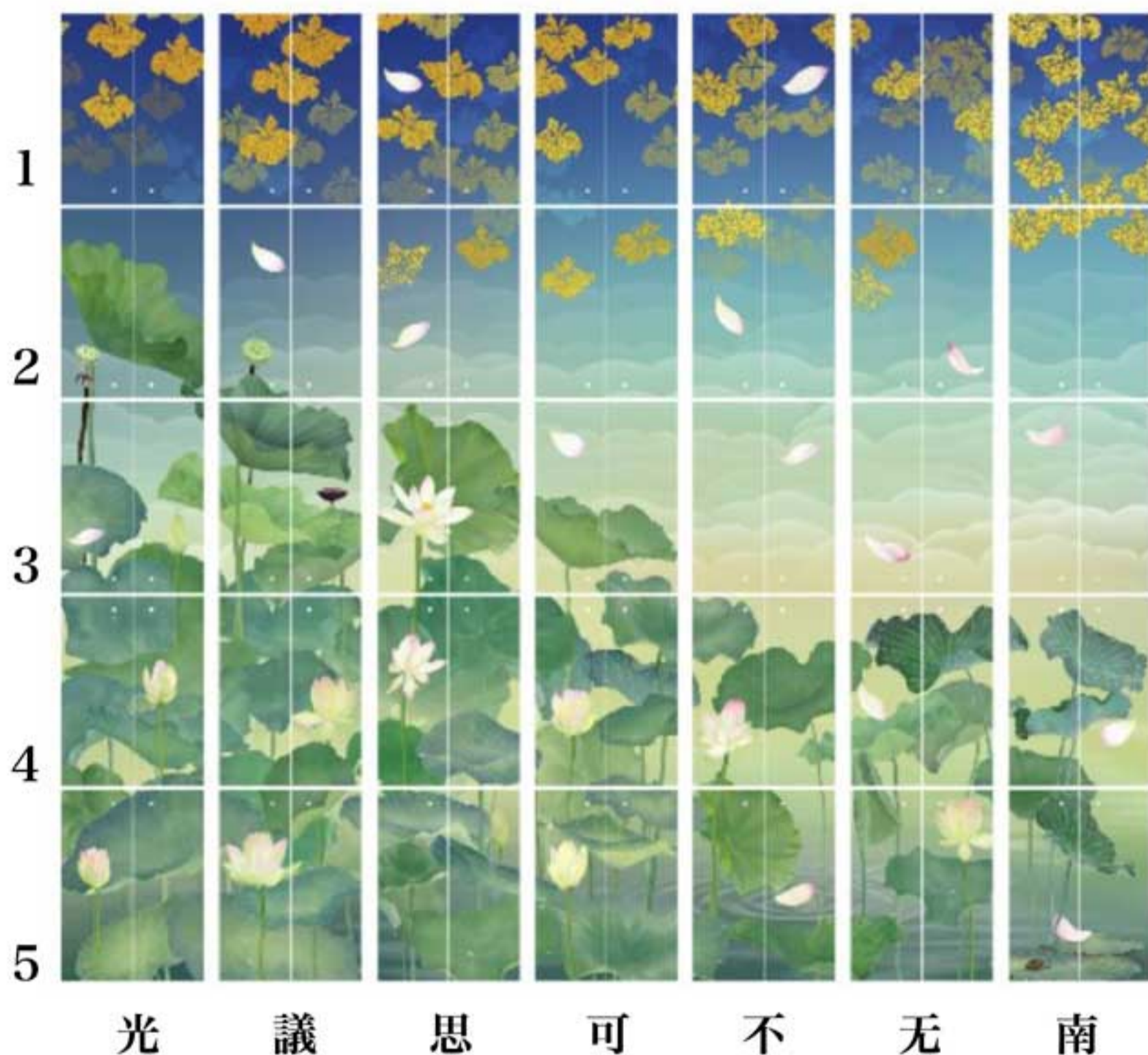
メール:jikezan.saienji@gmail.jp

Facebook:メッセージ対応可

## 納骨壇 7列5段2面の70基

一番身近なおつとめ「正信念仏偈」の冒頭の2句

東列 きみょうむりょうじゅによらい 婦命無量寿如来 西列 なもふかしぎこう 南无不可思議光  
を列名とし、上から順番に1～5の番号を付しました。

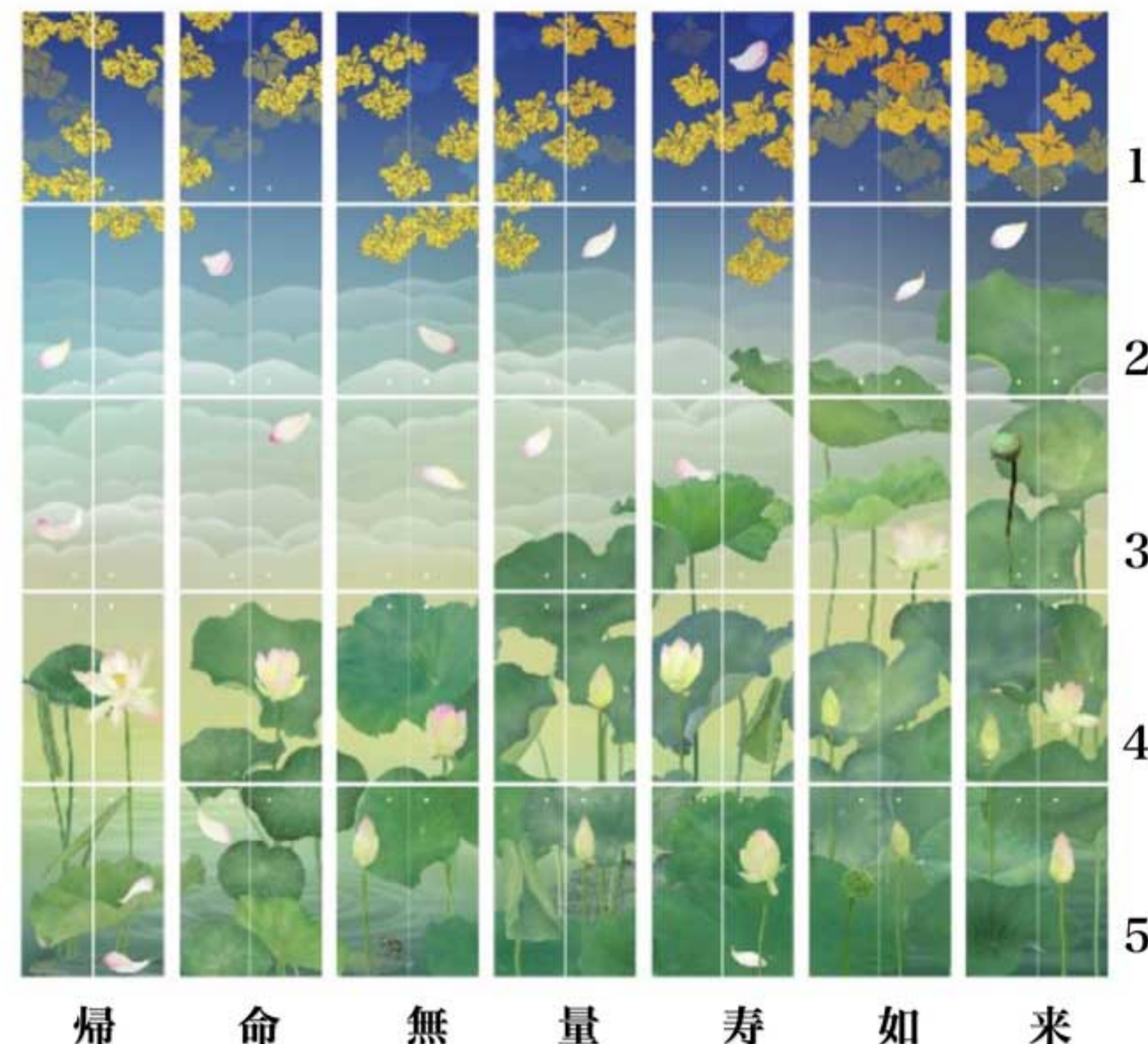


## 納骨容器 本願寺大谷本廟指定容器をお勧めします。

大型 (直径 173 mm) は 2 段 8 体可能

A 型 (直径 135 mm) は 2 段 12 体可能

B 型 (直径 115 mm) は 2 段 16 体可能



納骨容器の大きさに着眼して、他にない容積を実現 (丸型 5 寸で 8 体取骨) しました。前室は御本尊や過去帳を取蔵することができます。



●寸法=幅 350 mm×高 430 mm×奥行 550 cm

●特徴=前室 (ガラス扉を開けた場所) に御本尊や過去帳を置けます。

●冥加金=1区画 50 万円以上 年次冥加金 3,000 円 (護持会費 5,000 円)

## お仏壇

ご本尊をご本山本願寺からお迎えしました。本堂と同じお飾りをしてありますが、ご本尊前の上卓 (うわじょく) は本堂のものを修繕して使用しています。

四具足の華瓶 (けびょう) と蠟燭立は貫通型のすっきりしたものを新調しました。

火舎 (かしゃ=四具足の香炉) と参拝用の香炉は、戦時中に仏具を供出した折に本堂で使われていた、金属に似せて焼いた土香炉で、昭和の歴史を刻む香炉です。戦争の歴史を忘れないため再び用いることにしました。

ご参拝には、焼香卓の左右の花立をご使用ください (枯れると取り除きます)

お供物は香炉台 (香炉の左右) をご使用になり、参拝後はお持ち帰りください。

## 納骨室の容器配置

ご希望の大きさや色の容器を取次します。



## 従来からの容器でも納骨できます

丸型 8 寸 (直径約 25 cm) は 1 段 1 体取蔵

丸型 6 寸 (直径約 19 cm) は 2 段 4 体可能

丸型 5 寸 (直径約 16 cm) は 2 段 8 体可能

丸型 4 寸 (直径約 13 cm) は 2 段 10 体可能